

C 固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発

【目的】

2021年度に技術戦略プランで示した処理・処分方策とその安全性に関する技術的見通しを踏まえ、固体廃棄物の特徴に応じた廃棄物ストリームの構築に向けて、性状把握を進めつつ、保管・管理、処理、再利用、処分に係わる方策の選択肢の創出とその比較・評価を行い、具体的な固体廃棄物管理全体(固体廃棄物の発生から再利用、処分までの管理)について適切な対処方策の提示に向けた検討を進める。

<現状の課題(必要とされる技術)>

固体廃棄物対策について、物量低減の更なる可能性を検討するとともに、固体廃棄物の特徴に応じた廃棄物ストリームの構築に向けて、固体廃棄物の具体的管理について全体として適切な対処方策の提示に向けた検討が必要である。

現状の取り組むべき主な課題を以下に示す。

- ▶ 固体廃棄物管理全体へ反映するため、分析データの取得・管理を行うとともに、性状把握の効率化
- ▶ 安全かつ合理的な保管・管理のため、物量低減に向けた減容・再利用技術の開発
- ▶ 処理技術に関し、低温処理の適用性に関する課題の検討、低温処理技術の適用範囲の拡大のための中間処理技術の検討、柔軟かつ合理的な処理技術の検討
- ▶ 処分技術に関し、処分概念オプション案を構築・提示するとともに、その安全性を評価するため、処分場の安全機能に影響する重要シナリオを抽出

<2025年度開発内容>

- 性状把握 ・固体廃棄物管理全体へ反映するための分析データ取得、管理
・性状把握の効率化
- 保管・管理 ・汚染された金属を対象とした減容・再利用技術に関する開発
- 処理・処分 ・低温処理技術の適用性に関する課題への対応(一部新規)
・分別困難なガレキ等の一括熔融固化技術の開発
・処分案の提示及び安全性評価技術の開発